

2021 年度 関西選手権競漕大会 開催に関する

ガイドライン

1. 基本方針

選手・大会役員や補助員の生命・健康の安全を最優先に注意をはらい、安全第一で競技運営を行えるようにする。

2. 大会開催可否の判断基準

- (1) 緊急事態宣言の解除
- (2) 開催自治体からのイベント開催が認められている
- (3) 大会運営を行うにあたり必要な役員・補助員が確保できていること
- (4) 大会に関わる全ての人の健康状態の管理体制を整える
- (5) ガイドラインに沿った大会運営を行う

3. 大会の開催について基本注意事項

- (1) 大阪府・高石市の方針に従う
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、観戦・応援を目的とした来場の自粛を求める
- (3) 感染拡大の兆候やスポーツイベントにおけるクラスターの発生があった場合、大阪府知事の要請等に基づき無観客化、中止、延期等の適切な対応を行う
- (4) 競技会に関わる参加者が「新しい生活様式」に従っている

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 会話をする際は、可能な限り**声圧力を避ける**。
- 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。**
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
- 人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える。シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）。

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**、 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を26℃以下に） 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密着、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はみりせず自宅で療養








(3) 日常生活の各場面別の生活様式

<p>買い物</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通販も利用 <input type="checkbox"/> 1人または少人数ですいた時間に <input type="checkbox"/> 電子決済の利用 <input type="checkbox"/> 計画を立てて早く済ませ <input type="checkbox"/> サンプルなど展示品への接触は控えめに <input type="checkbox"/> レジに並ぶときは、前後にスペース 	<p>公共交通機関の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 会話は控えめに <input type="checkbox"/> 混んでいる時間帯は避けて <input type="checkbox"/> 徒歩や自転車利用も併用する
<p>娯楽・スポーツ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 公園はすいた時間、場所を選ぶ <input type="checkbox"/> 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用 <input type="checkbox"/> ジョギングは少人数で <input type="checkbox"/> ずれ違うときは距離をとるマナー <input type="checkbox"/> 予約制を利用してゆったりと <input type="checkbox"/> 狭い部屋での長居は節用 <input type="checkbox"/> 歌や応援は、十分な距離かオンライン 	<p>食事</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 持ち帰りや出勤、デリバリーも <input type="checkbox"/> 屋外空間で気持ちよく <input type="checkbox"/> 大皿は避けて、料理は個々に <input type="checkbox"/> 対面ではなく横並びで座ろう <input type="checkbox"/> 料理に集中、おしゃべりは控えめに <input type="checkbox"/> お酒、グラスやお箸の回し飲みは避けて
<p>イベント等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 接触確認アプリの活用を <input type="checkbox"/> 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない 	

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

4. 大会運営について

(1) 主催者が行うこと

- ① 大会会場において3密解消の工夫を徹底する
- ② 頻繁に触れる箇所は清掃・消毒し、会場・施設環境を清潔に保つ

(2) 大会に関わる全ての人が行うこと（選手・チーム関係者・大会役員・競漕会役員・大会補助員など）

- ① 自己の体調管理を徹底する
- ② 「2021年度関西選手権健康調査質問シート（大会前）」を使用し、大会2週間前から体調管理チェックを記入し、大会本部へ提出する
また、「2021年度関西選手権健康調査質問シート（大会中/大会後）」を使用し、大会中と大会後2週間の体調を記載して、大会終了後1カ月間保管する
- ③ 過去2週間以内に発熱等の体調不良があった場合、会場入りせずに自宅待機・療養する
- ④ 大会終了後2週間以内に発熱等の症状があった場合、最寄りの保健所・医師会診療所等に報告、相談し、必ず関西ボート連盟に報告すること

(3) 大会開催にあたっての感染防止対策

- ① 3密を回避する
- ② ソーシャルディスタンスを確保（基本的に2m）する
- ③ こまめに手洗い・手指消毒ができるように、会場内の出入り口等に消毒剤を設置し、各水道蛇口付近に石鹸を設置し30秒以上の手洗いを奨励する
- ④ タオル・水分ボトルは必ず自分で持参（購入）し、自分のものを使用する（貸し借り禁止）
- ⑤ 屋内では原則としてマスク又はフェイスシールドの着用を義務化する
- ⑥ 屋外ではマスク又はフェイスシールドの着用を奨励する
スタン艇のコックスについては、マスク又はフェイスシールドの着用を推奨する
- ⑦ マスク着用中は、熱中症予防を行うこと
- ⑧ 唾や痰を吐くことは極力行わない
- ⑨ 屋内では、常時換気を行うため、扉や窓を閉めない
- ⑩ 更衣室の滞在は短時間にし、極力室内では私語を行わない
- ⑪ シャワー室は原則として使用不可とする
- ⑫ 応援用テントの設置は禁止する
- ⑬ 全ての場所でソーシャルディスタンスを意識し、集団で大声を出して応援を行わない
出艇時のエール（桟橋等）は行わない
- ⑭ 出艇、帰艇時における桟橋での補助者は、1クルーにつき1名とする
- ⑮ 大会役員・競漕会役員・補助員も健康観察を行い、異常がある場合は業務に従事しない
- ⑯ 大会役員・競漕会役員・補助員はマスク又はフェイスシールドの着用を徹底する
また場合によってはアクリル板等も活用する
- ⑰ 大会会場において、密を防ぐための対策が行われているか、大会役員・競漕会役員・補助員にて巡回を適宜行い、状況によっては声掛けを行う
- ⑱ 競技結果や大会連絡については、密を避けるため、掲示板は使用しない
関西学連のTwitter、関西ボート連盟のホームページを通じて周知を行う
- ⑲ 開会式及び閉会式は行わない
- ⑳ 代表者会議はオンラインで行う

- ②① 表彰式は行わない。1～3位までの入賞クルーの代表者は、レース後大会本部まで賞状・メダル等を受け取りに来ること
- ②② 各日の競技終了後、不特定多数の人が触れる箇所について、消毒を行う
また、大会役員・競漕会役員・補助員・審判等が使用した機材等についても消毒を行う
- ②③ 大会終了後、2週間以内に感染の報告を受けた場合、感染の情報を入手し、最寄りの衛生部局に連絡して指示に従うとともに、関西ボート連盟に報告すること

◎重要 以下に該当する場合は、自主的に参加を見送ること

- ・体調が良くない、通常でない場合
- ・体温が平常時より1.0度以上高い場合（目安37.5度以上）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

5. 医療関係・緊急時の対応

- (1) 医師を救護所に常駐させる
- (2) 救護所は3密解消の工夫をする
- (3) 競技中・競技後に体調不良を訴えた関係者に対し、防護体制（マスク、フェイスシールド、手袋、眼鏡等）を整えたスタッフが対応する
- (4) 緊急時に備え、地元医療機関へ迅速に連絡できる準備をする

6. 大会主催者の免責事項

本ガイドラインは関係諸機関のガイドライン等の情報を用いて記載していますが、使用者の責任において活用してください

大会主催者として、最大限安全に配慮して運営を行いますが、大会に関わる全ての方の新型コロナウイルス感染症への感染に対する、いかなる責任も負いません